

リ、昔ハ此ノ大キナル木ナム有ケル、此レ希有ノ事也トナム語リ傳ヘタルトヤ、

〔大扶桑國考下〕柞は常にはハヽソと訓む字なるを、撰者○今昔物はタリの木に用たるなり、其は、その木の在りし所を栗田郡と云にて知べし。古事記傳に、近江國栗田郡に語り傳へて云く、古に栗の大木ありて、其枝數十里にはびこれり、故栗本と云ふ。今も地を掘れば栗の實また枝など有り、またスクモと云て、里人の薪に用ふる物ありて、土中より掘出す是も其栗の葉なりと云々、此類の語り傳へ、なほ國々に往々あり。

〔類聚符宣抄三〕太宰府解 申請官裁事

言上八幡宇佐宮惟異狀

西門外腋御幣殿東方柞木俄枯事

件木茂盛大樹也、而俄以枯了、一葉無青、今月十三日申時所見及也者、

同月十七日辰時鴨一雙集南樓上者

右得豐前國去三月二十日解狀稱得彼宮今月十七日移文今日到來稱御宮物惟注其日時、移送如件、早欲被言上於大府者、今隨移文到來不移時、剋言上如件、望請府裁早被言上於官者、言上如件、仍注事狀謹解、

萬壽三年三月二十三日

正六位上行大典豐國宿禰公職略○下

榆

〔新撰字鏡木〕榆是珠庚白粉也。爾禮。

〔本草和名木十〕榆皮、一名零榆、一名還榆出七卷食經和名也。爾禮。

〔本草和名木十三〕無夷、一名無姑、一名藪塘楊玄操音上殿下服仁謂音義作藪塘音非、一名藪蘆敬注出蘇、一名敏滿、一名莖蘆蕪出雜要誤注、一名白菁巨塊爾雅注、和名比岐佐久良、一名也爾禮乃美、